



2004.4.25

# かんだ

No.79

あなたと議会をむすぶ GIKAI・MAGAZINE

KANDA TOWN

こんにちは  
**議会**です



入学おめでとう

於 片島小学校

## 3月定例会

- ▶ 委員会報告 P5~6
- ▶ 一般質問10人登壇 P7~17
- ▶ カメラ見て歩き P20~21



がんばれ  
地域のサポーター













# 平成16年度町づくり予算は

## 一般会計

# 118億9,995万円

町民1人当りに使われるお金 318,264円

(平成16年3月1日現在の人口35,642人) 上段：予算額、下段：1人当りの金額

<p><b>商工費</b> 商工業の振興など</p> <p>5億3,010万円 14,873円</p> 	<p><b>議会費</b> 議会費など</p> <p>1億5,432万円 4,330円</p> 
<p><b>土木費</b> 道路、公園の建設など</p> <p>17億4,935万円 49,081円</p> 	<p><b>総務費</b> 総務関係経費や戸籍台帳費、選挙費など</p> <p>18億9,057万円 53,043円</p> 
<p><b>消防費</b> 消防、救急活動など</p> <p>4億789万円 11,444円</p> 	<p><b>民生費</b> 社会福祉サービスなど</p> <p>25億8,447万円 72,513円</p> 
<p><b>教育費</b> 教育、文化、スポーツ振興など</p> <p>11億5,789万円 32,473円</p> 	<p><b>衛生費</b> ごみやし尿処理など</p> <p>13億3,530万円 37,464円</p> 
<p><b>公債費</b> 借り入れたお金の返済など</p> <p>16億1,383万円 29,668円</p> 	<p><b>労働費</b> 勤労者福祉など</p> <p>240万円 67円</p> 
<p><b>その他</b> 災害予備費など</p> <p>2,057万円 577円</p> 	<p><b>農林水産業費</b> 農林水産業の振興など</p> <p>4億5,377万円 12,731円</p> 

3月定例会は2日から23日まで  
会期22日間開催される！

# 予算委員会報告

平成16年度予算特別委員会

委員長 坂本 東二郎



荇田町役場

## 付託案件

平成16年度一般会計予算ほか13件で、慎重審議の結果、全議案を可決した。

## 主な質疑

### 平成16年度一般会計予算

#### 歳出

Q 他の補助金が削減されているのに郡町長会負担金が増加しているが。

A 他町が合併を控えている。17年度は削減するように努力する。

Q 開発公社に対する補助金は。

A 借入金の子補給である。

Q 地域コミュニティー活性化支援事業は地域の世話をしている人達が限られ、この事業のため、さらに重荷になるのではないか。

A 地域に点在する役場職員を担当として配置し、出来るだけ重荷にならないよう町民参画の町づくり組織として育てていく。

Q 社会福祉協議会の助成金の減額は。

A 行財政改革は社協も例外ではなく業務面、待遇面について見直し改革を要請している。

Q ブックススタート事業の本の選定は。

A 図書館と協議していく。

Q ゴミ袋の有料化は。

A 関係団体と協議している。

Q 商店街に対して支援措置はないのか。

A TMOと連動しながらあらゆる策を組合せ努力する。

Q 港まつりを民間主導には。町の宣伝、PR活動の一環

として民間主導を含めて検討する。

Q 学校図書室に司書を配置したが反応は。

A 生徒達の読書数も増えている。

Q 校舎耐震度調査委託料は。

A 昭和56年以前の校舎を対象に本年度は南原小、荇田小の調査を行う。

#### 歳入

Q 法人町民税の伸びが大きい。これに甘んじることなくエンドレスで行財政改革を。

A 自立に向けての町づくりの中で更なる財政基盤の強化をはかり行革を進めていく。

Q 税等の滞納問題は非常事態であり、このさい徴収の専門家を集め、税務署OB、民間の専門家、警察OBにも協力を求め、町として総力を結集すべきだ。

A 滞納一掃対策をまとめ4月末までに議会に報告する。

Q 保育料は保証人制度の導入、学校給食費は持参方式で行ったかどうか。

A 調査して検討してみる。

Q 低所得者の対策がされているのか。

A この対策も大事であり、しっかり行う。

## 国民健康保険

### 特別会計予算

Q 15年度の保険料値上げの効果はどうか。

A 予想を超えた医療費の増大で赤字になりそうである。

## 介護保険特別会計予算

Q 障害者控除の対象となる人はどれ位いるのか。

A 寝たきりの人約40名であり、調査の上判定する。

## 奨学資金貸付金

### 特別会計予算

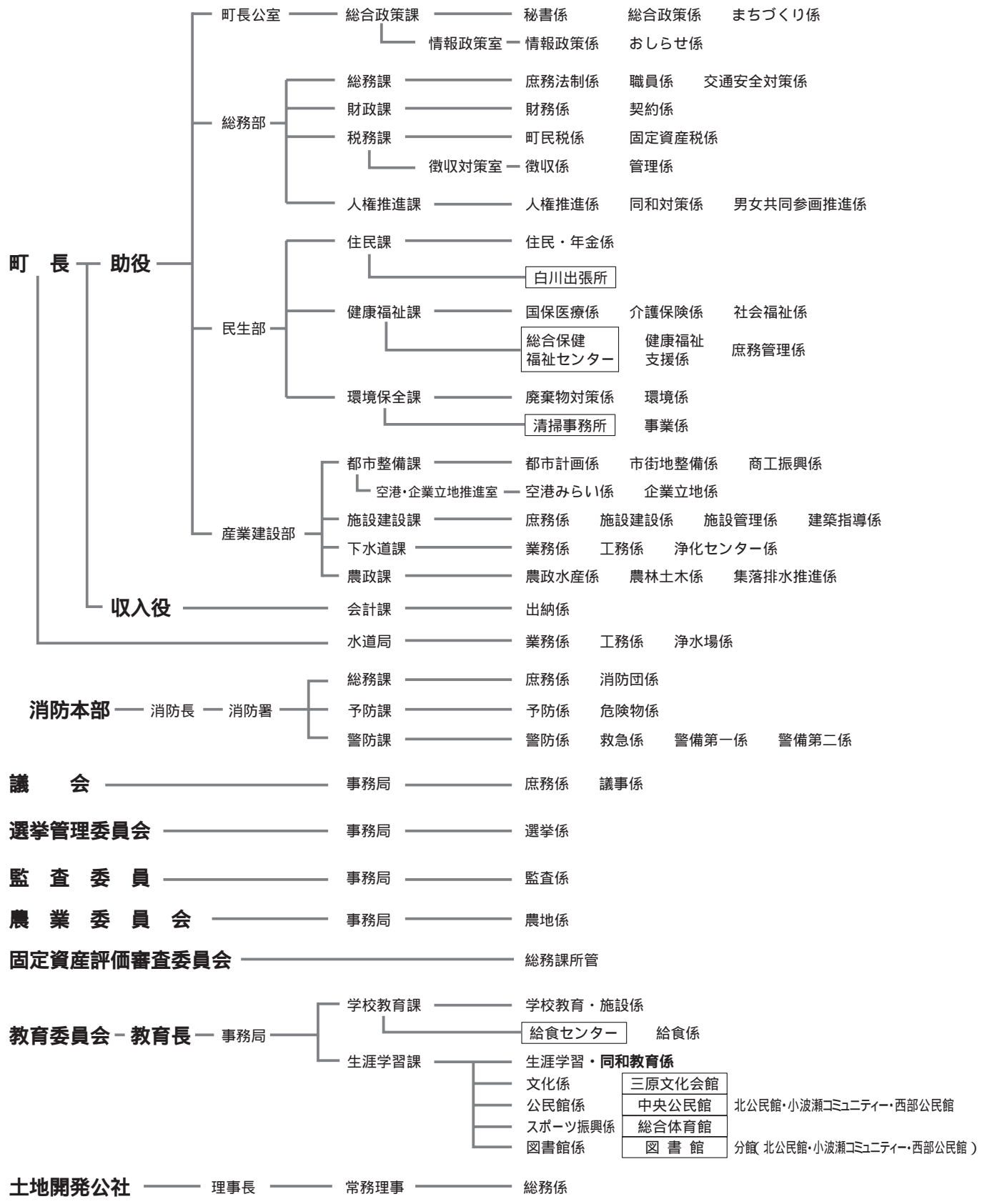
Q 年度途中からでも貸付金が受けられないか。

A 奨学生選考委員会の中で検討する。

# 組織機構改革を実施

## 自立を目指した町づくりの推進

苅田町行政組織図(16年4月改正)



# 委員会報告

総務常任委員会

委員長 **三原 茂**

## 付託案件

条例改正 八件  
条例廃止 一件  
補正予算 二件  
慎重審議の結果、全議案を可決した。

## 議案と主な質疑

### 苅田町部及び課設置条例の一部改正

自立を目指した町づくりを推進するために組織機構の見直しを行うものである。

**Q** 課、係、室の増減は。  
**A** 課は現行のままでは係は2係の増で室は名称の変更である。

**Q** 町長公室、情報政策室の位置付け及び性格は。  
**A** あいまいになっているので今後検討していく。

### 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

図書館長を非常勤の特別職の職員とするための改正、並びに

公職選挙法の一部を改正する法律施行に伴い必要な改正をするものである。

**Q** 図書館長を非常勤にするより職員の方がいいのではないか。

**A** 法律の規制もなくなり、行政改革を進めているなかで、安いコストで実務経験が豊かで様々な指導ができる館長を置く。

### 一般会計補正予算

**Q** 企業実態調査業務委託の減額は。

**A** 当初予定していた期間より、調査が早く終了した。

**Q** 若年者専修学校等技能習得資金貸付金は全町民を対象にしているのか。  
**A** 全町民を対象にしている。



図書館

厚生文教常任委員会

委員長 **川上 公美子**

## 付託案件

条例制定 一件  
条例改正 四件  
補正予算 七件  
請願 一件  
慎重審議の結果、全議案と請願一件を可決した。

## 議案と主な質疑

### 苅田町長寿祝金支給条例の一部改正

長寿祝金の支給対象並びに支給額を改めるための改正である。

**Q** 見直しのくわしい内容は。  
**A** 今までは、75才以上の町民を対象に全員に支給していたが、今回の見直しで節目の年齢の方に支給することになった。

ことに伴い、地域の高齢者を地域で支え、敬い、見守ることを目的とした事業を新たに立ち上げた。

### 一般会計補正予算

**Q** 苅田町小、中学校教育問題審議会は十分に現場の声を反映しているのか。

**A** 各学校とヒヤリングを予定している。

### 苅田町青少年育成振興基金条例の制定

苅田町青少年の健全育成に資することを目的に、スポーツ施設及び社会教育施設の環境整備事業に要する経費を措置するため、法の規定に基づき青少年育成振興基金を設けるものである。

**Q** なぜ、苅田町だけが豊津町の総合グラウンドの整備費用を整備計画もない時点で負担するのか。  
**A** 将来的には、利用している二市二郡に負担を求めることになる。

# 委員会報告

産業建設常任委員会

委員長 **武内 幸次郎**

## 付託案件

- 条例制定 一件
  - 条例改正 一件
  - 町道路線の認定 一件
  - 公有水面埋立 一件
  - 補正予算 六件
  - その他 一件
- 慎重審議の結果、全議案を可決した。

## 議案の主な質疑

### 苅田町都市計画マスタープラン研究会設置条例の制定

都市計画法に関する基本的な方針を定めるに当たり、住民の意見を反映させるための附属機関設置の条例制定である。

### 公有水面埋立

井場川河口部の埋立免許の出力に係る答申を、苅田港港湾管理者の福岡県にするものであ

る。

**Q** 化学弾との関係もあるが漁協の理解が得られるのか。

**A** 漁協の協力はいただけると思う。

### 土地区画整理事業特別会計補正予算

**Q** 踏み切り問題の対応として、当初、一減一増の話の中で使用しない踏み切りを廃止し対応すると言っていたが。

**A** J-R貨物と協議中であり引込み線廃止の動きもあり推移を見守ってきたが、3月末までには結論を出す。

### 公共下水道事業特別会計補正予算

**Q** 現在、推進工事が行われているが、工期内に終了するの

**A** 予定工期内に終了する。



井場川河口埋立予定地

3月定例会の一般質問は、9日・11日・12日に10人が登壇しました



常廣 直行 議員

一、新北九州空港関連のまちづくりについて

一、地域コミュニケーション活動の充実・活性化について  
一、最近気になっていること



坂本東二郎 議員

一、地方分権化時代と苅田町

一、苅田町都市計画について  
一、臨時職員の実態と今後の対応について



白石 壽幸 議員

一、県道（須磨園南原曾根線）の整備と周辺地域の生活環境について

一、消防業務の区域拡大と消防（救急）体制について



小山 信美 議員

一、図書館の施設のあり方と児童館について

一、すみよい町づくりについて  
一、滞納問題解決に向けた具体的取り組みについて



作本 文男 議員

一、シルバー人材センターの調査結果について

一、第1ひまわり保育園の正常化について  
一、介護保険の在り方について

# 一般質問

## Q & A



川上公美子 議員

一、町民の声にそった民主的な町づくりを

一、教育問題



梶原 弘子 議員

一、新年度予算では苅田町らしい特色ある町づくりが計画されているのか

一、政治倫理条例の見直しを



富安 正直 議員

一、苅田町の将来像

一、構造改革特区への取り組み



武内幸次郎 議員

一、行政改革について  
一、第3次苅田町総合基本計画について

一、鳥インフルエンザに対する取り組みについて  
一、今後の学校の管理運営の在り方について



林 繁実 議員

一、第2次行政改革について

一、教育について

# どう進めるか新空港関連とまちづくりは

## 広域行政を推進する

### 常廣 直行議員

**Q** 大型プロジェクトと日常行政を平行して推進する為の組織体制が必要、変更の狙いは。  
**A** 都市整備課を強化し、市街地整備係 企業立地係を設け対応していく。

**Q** 北九州市との広域的な取り組みの進捗状況と見通しは。  
**A** 2回の会談をもった。これから広域行政を続ける。  
**Q** 苅田駅と朽網駅の位置づけと具体的な計画は。

**A** 苅田町は日豊線苅田以南、朽網駅は北九州側、下関、遠賀地区の利用客とに住民分けが出来る。  
**Q** 21世紀プランはどう変化する。現実的になったものと、見通しは。

**A** 交通ネットワークの構築、交通モード間の接続性向上、新たな産業拠点づくり、企業誘致の整備は進んだが、フライト農業、広域的な環境拠点の形成等は手を付けていない。空港開港まで力を入れる。

**Q** JR小波瀬西工大前駅の移転と公共下水道工事を加速させることはできないか。  
**A** 駅移転は膨大な費用がかかる。財政状況を見ながら行なう。

**Q** 特に下水道の整備は小波瀬区町政懇談会での答弁の実現へ向けて早めることはできないか。

**A** 膨大な費用がかかる事業で25年完成予定だが、国の財政状況から自信がもてない。小波瀬区域は18年度で予定している。17年度で変更して認可が広がれば接続が可能になる。早く実現させていく。  
**Q** 地域コミュニティ活性化支援事業の目的は。  
**A** 自分たちの地域は自分たちでつくる認識をすることが目的。  
**Q** 各組織とコミュニティ支援事業との整合性は。どう活用しているのか。  
**A** 各団体を入れて取組む事業を決め、校区全体のまちづくりを考えていく。そこに整合性がうまれる。  
**Q** 期間は3年間ではなく、もっと長期的な構想が必要だ。  
**A** 住環境の整備や高齢者の組織づくり等、事業によっては最長5年の猶予とする。

**Q** 北九州市は、市民福祉センターを拠点にするが、本町はどこに置くのか。  
**A** 4つの公民館に振り分けて対応する。  
**Q** 公民館は使いにくい。ルールの見直しが必要。

**Q** 「行政のしくみに問題」  
**Q** ごみをエコプラントに持ち込む際、トラブルが多発している。  
**A** 話は聞いている。対応を検討していく。  
**Q** 図書館の暖房が壊れたまま、行政の身勝手住民に迷惑を掛けている。  
**A** 関係課と協議し修理していきたい。  
**Q** 山口地区の道路陥没、危険な状態に直ちに対応できないか、以上3つの事例は行政の仕組みに問題があり、問題提起とする。

**Q** 新空港関連完成予想図



新空港関連完成予想図



一般質問

# 三位一体改革の中での影響は

## 非常に大きく大変厳しいものだ

坂本東二郎 議員

Q 地方分権化の流れの中で荊田町に移譲された権限とは何か。

A 犬の登録、鑑札の交付、注射済み表の交付、墓地等の経営許可等に関する事務等9項目、それと職員の資格、職名等に関するものだ。

Q 荊田町をはじめ不交付団体は全国でいくつあるのか。

A 平成15年度で115団体である。

Q 不交付団体の中で横の情報交換、連携はあるのか。

A なされていない。

Q 中央政府から出てくる情報を待つのではなく、分権化時代の今日、不交付団体同士が連携をとる事が大事ではないか。

A 荊田町と似たような不交付団体と情報交換等を進めお互いの行政能力を高めていくというのは非常にいいことだと思う。

Q 荊田町自身が自主財源的なものを開発する事が必要と思うし今後の町づくりの中で、町民債というか「ミニ公募債」を発行する検討はされていないのか。

A 町長からの指示もあり近々研修に行き、検討したい。

Q 3万5千人町民の資産を町の為に活用し、しかも町民の納得と監視の上で行政行為を行うことができるのではないのか。

A 今やるべき事は今やらなければいけない。将来に禍根を残さない為にも、必要とあらばミニ公募債的なものもぜひ採用していきたいと思う。

Q 尾倉与原線について何年から工事に入ったのか。

A 平成7年度に事業認可をとり17年度に終了予定である。

Q それでは事業費と工事距離と一日当り交通量はどのくらいか。

A 事業費18億5千万円、長さ311メートル、交通量は1500台である。

Q 莫大な年数と時間、経費をかけ、まだ供用開始も出来ない原因は何か。

A J Rとの協議、地元の用地買収等があったが、10年というのはかなり過ぎて次の公共工事の反省材料としたい。

Q 公共事業において集中と選択を常に検証しながら遂行してほしい。

### 「調整区域から市街化区域へ」

Q 今回の都市計画の見直しの内容であるが小波瀬川から日豊線と国道10号線内の調整区域を市街化区域へと編入する事は荊田町にとって極めて大事な都市計画上の課題ではないか。

A 今回の見直しで検討してみたいしマスタープラン研究会の中で荊田町全体の都市計画を再考してみたい。



やっと開通した尾倉与原線

## 県道須磨園南原曾根線の整備と 周辺地域の生活環境づくりは

今後とも県に対して要望していく

白石 壽幸 議員

**Q** 県道須磨園南原曾根線の整備と周辺地域の生活環境について。

**A** 県道須磨園南原曾根線は、国道10号線を補完する道路で大変利用量も多く今古賀、新津、緑ヶ丘区のところは、おくれいている。一刻も早く県道全線が拡幅されることを今後県に対して要望していく。

**Q** 今古賀、新津、緑ヶ丘地域は何年ごろの計画になるのか。

**A** 新津の清林寺から行橋側は認可を受けていない。早い機会に整備できるよう努力していく。

**Q** J R佐谷ノ森踏切の整備について、この踏切は非常に狭く踏切を横断する車と県道を直進する車との事故も多く、県道の信号機のボタンを押し待機する場所が狭く非常に危

険であり早急な整備についてうかがう。

**A** 大変危険な箇所であり平成16年度に踏切横断歩道の一部



J R 佐谷ノ森踏切

を拡幅し部分改良されることになっていく。J R新津踏切と接した交差点も改良の余地はあると思われる。

**Q** 百合ヶ丘区の生活道路について県道から一本しか道路がなく、迂回路を設ける計画はないのか。

**A** 災害等で道路が利用できなくなれば、地域の生活に大きな支障が出ることは十分理解している。基本的に、大きな団地には車道が2本あるのが本当だ。十分前向きに検討していく。

**Q** 消防業務の区域拡大と消防(救急)体制について。

**A** 新北九州空港の消防体制については基本的に苅田町と北九州市が広域行政の一環として協議をしている。東九州自動車道も日本道路公団と協議をしており消防業務の広域化については市町村合併問題とも関連があるので息の長い検討をしている。

**Q** 消防力の基準に基づく苅田町消防の充足率について。

**A** 苅田町の保有する消防資機材に対しての消防力の基準に基づく消防職員の充足率は何か。

**A** 設備と装備については、ほぼ100%で、これに伴う人材は基準の見直しがあり職員数は51%である。

**Q** 職員数が基準の半数で今後空港、東九州自動車道、臨海道路等々が整備される。初動体制で住民サービスが低下することはないか。

**A** 事故等に関しては、そういう問題が起きる、不足の隊員は現在非常招集等での対応を考えている。人員不足、機材不足等非常に難しい問題があると懸念している。

**Q** 十分に協議をしていただくようお願いする。

## 滞納解決の具体策は

### 大胆な徴収策を執行する

小山 信美 議員

#### 図書館の 施設のあり方と児童館



図書館内

**Q** 雨の日等は外で食事がとれないが、展示コーナー付近を時間制限付で開放する考えはないか。

**A** 雨降り等は展示ホール3カ所を開放できるように今後検討する。

**Q** 富久公園の配置に対する疑問と現在の利用度は。

**A** 平成12年12月に都市公園として購入、住民が自由に使えるようにと考えて造られた。

**Q** 花壇の配置をもっと工夫して、子供が楽しく利用できる物を取り入れてはどうか。また、学校や図書館（施設内での）を禁煙にする所もあるが当町も禁煙にできないのか。

**A** 平成12年に国民健康づくり運動ができ、喫煙コーナーを設置したが、できる限りそこの喫煙を控えていただけようをお願いしていく。

**Q** 子供コーナーをガラス張りなどにして中の声が回りの迷惑にならない様に考えるはあるか。

**A** 本質的には親子の利便性を考慮して設計をしたが内部で可能かどうか検討する。

**Q** 児童館について町の考えは。

**A** 平成12年3月のエンゼルプランでは位置づけているが、時代も変化する中で総合的な少子化対策として平成16年度に次世代育成支援計画をつくり、この中で検討していく。

#### 町財政状況の広報のあり方

**Q** 税金の使途がわかりにくいので誰にでも理解しやすく、一目でわかり易い広報に検討すべきだ。



**A** 第2次行政改革の組織機構の見直しの中で、町長公室の情報政策室の中に「お知らせ係」を設けてわかりやすい工夫をしていく。

#### 滞納問題解決に 向けた取り組み

**Q** 荻田町全体で町税・使用料の滞納はいくらあるのか。

**A** 平成13年度決算時は13億円程度であった。

**Q** 町税滞納額は平成14年度で11億円をこえている。特に国民健康保険税は収納率が下がっており、徴収方法に問題があるのではないか。

**A** 国保の加入者は売人が多く景気の低迷により未払いの状況である。その人達は資格証明書で病院代を払い返金の

時、税に参入してもらう方法をとる。

**Q** 国保は年度末に繰り入れがされるがこれは税の二重払いであり行政責任を問われるのではないか。

**A** まさにその通りで徴収対策室で法的措置を全面に出して徴収をしていく。

**Q** 滞納額が年々増加し5年間で3億6808万円以上にもなっているが、なぜ改善できないのか。今後の具体的な取り組みは。

**A** 長引く経済の低迷により増加しているが第2次行政改革で大胆な徴収、強制執行も辞さないという形まで踏み込んだ徴収をしていく考えである。

# 不正流用は人権問題解決に使ったと言ったが

私的に流用しており、悪質だ

作本 文男 議員

Q シルバー人材センターの調査結果は。

A 発足（日12年10月）当初から不正流用が行なわれ、約350万円と確定し損害賠償という形で返環を命じ、返金された。

Q 当初333万778円が391万62円となり最終的に350万2千702円に変わったのは何故か。

A 公用に使ったというガソリン代、自動車事故の慰謝料、代用車修理代47万8千円が抜けていたが40万8千円は不正流用でないとの結果に基づくものだ。

Q 1円たりとも不正は許されない、実態調査をしたのか。

A 管理体制ができてなかったし、調査しても恐らく解らないというのが現実だ。

Q 発電機の修理代の領収書が

実際はシルバー局長会懇親会費として流用されているが。

A ゴルフ懇親会に使っており他の団体とつき合いも必要として認めた。

Q 町民から負託を受けた我々がしなければならぬ事は不正流用の正確な金額を出す事だと思うが。

A 厳しく1円たりとも見逃さない態度ですべて明らかにする事が重要だ。今監査に入っているので結果を待ちたい。

Q 監査はいつまでに結論を出すのか。

A 正確な数字を公表する為、最善鋭意尽くしている。

Q 実態調査が無理であれば警察に告発すべきである。一日も早く損害額の確定をし処理をするべきである。

A 監査結果が出た後、関係官庁と相談して行く、その中には警察も入ると思う。

## 第一ひまわり保育園の運営

Q 第一ひまわり保育園では昨年の入園進級式に理事長が弁護士を連れて来たと聞いたが、正常な運営がなされているのか。

A 園と経営者側が対立し保護者の皆さんが巻き込まれている状況だ。

Q 保育行政の主役は子供達である。児童福祉法の理念に違反している。又社会福祉法58条2項の3に「定款に違反した場合役員を解職すべき旨を勧告できる」とあるが、勧告したのか。

A 勧告したことはない。

Q 「社会福祉法人が前項の規定による措置に従わなかった時は交付した補助金、貸付金は返還を命ずることができるとある。法律・条例にのっとり町長として踏み込んで解決するという決意表明をしてほしい。

A 県と相談し断固たる処置を至急にとる。

Q 勧告指導して従わなかったら私立保育園助成金、処遇改善費補助金の198万4千円を凍結すべきである。



# 第二次行革に町民の声は入っているのか

## 組織、人材を最大限に活用する

川上公美子 議員



**Q** 社会福祉協議会（以下 社協）の助成金が昨年度の4200万円から3503万円に減らされている。職員の削減、社協も減らすべきと町長は

いっているが、現在社協がとりくんでいる八つの事業に対して、地域福祉は、この程度でよいというような提言がなく、いつも予算を削る事ばかりに目が向いている。町長の考え方を問う。

**A** 第二次行革のため社協といえども運営型から経営型に変わっていかなくてはならない。

**Q** 今の状況では、1000万円の自主財源を捻出しなければならずこれでは、本来の仕事ができないという問題があるが。

**A** 業務内容の前に給与を職員並みにしなければならぬと

いう前提が誤っている。

**Q** 一度町長が決裁を出した給与体系を予算編成の段階で財政課が脱法行為としている。これに対し、何の説明も町長はしていないし、整合性もないのではないか。

**A** 改革中である。

**Q** 改革とは、住民が暮らしやすくすることである。一番弱い立場にある人たちのことを考えてほしい。町民にとってのむだは省くということである。臨空工業団地などの予算は確保しているのだから配分には問題がある。

### 男女平等社会の推進の予算を

**Q** 町長は、町民との共同による町づくり推進をと考えている。

政策、立案の段階での町民

や女性参加を進めるために女性のエンパワーメント（力をつける）が必要である。女性対策室への最低保障をすべきである。

**A** 16年度が女性相談業務、条例策定及び各プログラム策定の意識調査という形でやっている。

**Q** 町田駅前ロータリーの問題に町民から指摘があり、これからの町田拠点都市構想に活かしてほしい。審議会の傍聴や議事録の公表はどうか。

**A** 極力公開していく。

**Q** 今まで75歳以上は敬老祝い金を支給するのではなく77才、88才、99才以上に変えた。この理由は。

**A** 各町村の流れである。各地域での敬老会の補助を500円から1000円にかえていく。

**Q** 身近な場所で行うのに賛成であるが、比較的恵まれている町田町がここまで切り詰めることに反対をする。



地域敬老会

### 二学期制の施行のモデルは

**Q** 百年続いた三学期制は合理性もあつたし、日本の風土や季節に合ったものだったと思う。

どのようにして決まったのか。

**A** 11月13日、12月24日に検討委員会で議論し目安をつけた。

**Q** 過密スケジュールの原因や現場の先生、子どもの意見を取り入れていくべきである。

## 学校環境をよくするため

### 全町の調査をしてほしい

#### 特殊学級、図書室、保健室の環境を急ぎたい

梶原 弘子 議員

**Q** 学校環境を調査してほしい、トイレも含めて安心して学校で勉強ができるように、又交通事故のないよう。今古賀下の県道は通学時に約一時間で上下850台、JRは13本の電車が通過、佐谷ノ森踏切は通学路になっている早急に改善をすべきだ。

**A** 今古賀から小学生127名が通学している。総務課とJRと話し合いを現在進めている。

**Q** 教員(論)の労働条件改善は子ども達にも影響する大切なこと、二学期制で改善できるか、現場の意見も聞いたのか。

**A** 1年間の試行、推測として児童生徒、教師に今まで以上の余裕が生まれるのではと予測している。

**Q** 町内は民間保育所だけになっている。古い保育所の建替え建設中、保護者の勤務体系が変わって要望も多様、一時保育、休日保育、病児保育など、保育内容の充実をはかってほしい。

**A** 園の方針もあり町が直接指導できない。  
**Q** 16年度予算に町長、議長公用車が840万円出ている。

**A** 園の方針もあり町が直接指導できない。  
**Q** 16年度予算に町長、議長公用車が840万円出ている。

**A** 執行部から出された行政診断報告書では公用車はリース契約とし、各種税、保険、車検などの節約をと出されているがこれを実行すれば予算を他へ回せるが。  
**A** 行政診断書をそのまま反映させていくものではない。



南原小学校 保健室

**Q** 荻田拠点構想について、貴重な干潟埋め立てに、今でも反対だが、具体的な調査や植物の移植などの計画が出されているので100歩譲って実行するからには成功してもらいたい。町民が使いやすい、高齢者・障害者にやさしい駅づくりを心がけてもらいたい。どれくらいの人達の利用のみと、県予算はどれくらいになるのか。  
**A** 5000人利用、東口だけで11億円の支援予定。

**Q** 政治倫理条例の見直しを望む。バッチの威光をひけらかしての脅しや私腹肥やしをなくしてほしい。  
**A** 現在で十分機能している。

**A** 現在で十分機能している。



J R 佐谷ノ森踏切

# 構造改革特区に積極的取り組みを

## 真剣に取り組みたい

富安 正直 議員

### 近隣自治体の

### リーダーを目指せ

Q 国の三位一体改革の方向性は財源の豊かな自治体が有利だと考える。北九州市を含めた近隣自治体は財政基盤が弱く、長期的に見て困難な状況の中、我が町は大きな可能性があり、近隣市町村の広域的なまちづくりのリーダーになれると思うがどうか。

A 苅田町は自立を目指した町づくりを進めている。豊かな自主財源に加え、空港、高速道路、港湾が整備される好機を活かし苅田町が地域発展の拠点都市、玄関都市となること、この地域のリーダーたることだと思う。

Q これからの公共投資は、維持費がかかるような箱物ではなく雇用や税収を生むものであるべきだと思うがどうか。

A そのとおりだと思う。今こそが、苅田町が主体となって広域的な政策立案能力を持つための基礎作りとして大事な時期だと思うがどうか。

A そう認識している。県も苅田拠点都市構想を打ち出す

ど、この地域のリーダーと期待して支援してくれていると思っている。

### 構造改革特区の可能性

Q 国の規制緩和の一環だが、昨年6月までに全国で延べ849の提案主体から1,357件に及ぶ特区構想提案が成されている。積極的に取り組めば町の活性化や職員の教育や意識改革にも有益だ。

A 特区構想の事例を検討したが対応はしていない。今後教育面や空港、高速道路などの事業の中で必要ならば特区申請を検討して取り組みたい。

Q 北海道の小樽、石狩市では、港湾物流特区として、国の重量制限の規制緩和を勝ち取っている。苅田町では各企業や大学などにそういった規制緩和への要望などを聞いたことはあるのか。

A ない。現在産学官連携の町づくりを進めており、その中で聞いてみたい。

Q たとえば、何かの構造改革特区構想に産学官で取り組みような、具体的な案件を立ち上げることで、本当の連携が生まれるのでは。

A 指摘の点も含め、スピードを上げて取り組みたい。

Q 空港島の苅田工区の活用方法として、カジノ特区を申請しカジノ誘致するなり、ディズニーランド九州、ユニバーサルスタジオ北九州など、将来の苅田町の財政基盤をより強固にする構想を描き、実現

すること、この地域の近隣自治体のリーダーとなるような長期的ビジョンを持って、町政に臨むべきだ。A 近隣の市町村も頑張っているが、苅田町も絶好の環境があると肝に銘じて近隣のためにも頑張りたい。



完成間近な新北九州空港

## 機構の見直しは

### 分かりやすく、利用しやすいものに

柔軟で機能性を持った組織にしたい

武内幸次郎 議員

健全財政を目指し簡素で効

率的な行政執行体制の推進と事務の効率性を図るとともに町民に分り易く、新たな行政需要に対応できる組織機構の見直しは重要である。運営上の問題点を改善し時代の要請に対応し得る効率的な組織機構へと、どのように見直しを図るか。

第2次行革において組織、人材を最大限に活用するため見直しは大きな柱の一つである。急速に変化する社会情勢への迅速かつ的確な対応、自立を目指したまちづくりへの対応、行政と住民との役割分担の明確化、新空港を活かした町づくりへの対応などを留意し、自立した町づくりを進めたい。

先に行った行政診断との絡みはどのようなになっているのか。

か。

診断に沿った見直しを考えているし、今後も基本にしなから組織の再編に当たりたい。

今日までの議会答弁で部長に対し権限委譲が十分なされていないと思う。部制度の充実を図る上でも検討すべきではないか。

行政組織の弊害と言われている、従割行政をなくすことでスタートした。指摘どおりであり反省点を踏まえ今後、部制の充実を図りたい。

やる気を引き出す人材育成システムの確立が重要である。今後どのように取り組む職員の意識改革を図っていくのか。

人材育成基本方針に沿って、人材育成あるいは人事制度システムの構築に向け早速

に取り組み成果を出していきたい。

#### 実施計画に添って実現を

与原区画整備事業は積み残された事業であり、地権者は市街化田として課税がなされている。諸課題はあるが早急に対応すべきではないのか。

事業化に向けての課題はあるが県ともいような形を精査し調査していきたい。

中小企業振興施策の一つに、資金融資制度があるが利用状況ほどようになっていくのか。

13年度 10件、14年度 4件、15年度 4件である。

利用状況から見てもっと事業者が利用しやすい制度に見直しが必要である。国民金融公庫の金利は経営改善資金、

無担保無保証で1.3%、

普通貸付は1.6%であり、町の融資制度は金利1.4%に加え保証料が無担保無保証の場合1.35%、その他の貸付は1.25%であり、トータルで倍近くになる。他の自治体では保証料を町が賄っている所もあるが検討してはどうか。

せっかくの制度であり、中小企業にも頑張っていたくために提案いただいた保証料も含め検討する。



与原区画整備事業予定地



# 町民主体の行政、教育改革が求められているが

## 真剣に取り組みたい

林 繁実 議員

### 行政改革について

**Q** 昨年の12月議会において行政改革を進めるには町民の意識がわからなくて改革はできない。そのため町民意識調査を十項目を示し調査するように指摘していたがその結果は。

**A** 調査項目の内容について検討中であり6月までに調査報告する。

**Q** 職員の給与の調整手当について現在3%を2.5%に下げることになっているがなぜ下げなのか、これは法的に問題があるのか。

**A** 国家公務員に調整手当を出すという基準が設けられている。この基準に基づき支給していたもので荏田町は調整手当を支払う地域から外れている。今後順次なくす方向でいく。

### 町が目指す教育について

**Q** 学校ではなせいじめや不登校が生じるのか、保護者や地域住民が求めている教育での要求は何か、それにどう答えるのか多くの問題を抱えているのか。

る。教育の専門機関としての確に対応できる経費と権限を与えるべきで、こうした学校の課題を解決することこそ教育改革ではないかと思う。教育基本法第6条はこうした意味合いを持っており、より生かすことが求められているが。

**A** 検討したいと思う。

**Q** 平成14年度に新しい学習指導要領が実施されて完全学校週五日制のもと、ゆとりの中で一人ひとりの子どもたちに生きる力を育成することを基本的なねらいとして改訂されたがそのねらいは、又学校がどう変わったか。

**A** 基礎基本を徹底して学び考え、生きる力をはぐくむ観点から個性を生かす教育の充実、教育の質の転換をはかるべきだ。

**Q** 私は改訂のねらいは4つあると思っている。

- 一、豊かな人間性や社会性国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。
- 二、みずから学びみずから考える力を育成する。
- 三、ゆとりある生活活動を展開する中で基礎基本の確実な定着を図り、個性を生か

す教育を充実する。

四、各学校が創意工夫を生かして特色ある学校づくりを進める。私はこのように思っているが。

**A** 特色ある教育特色ある学校づくりということであるとお

**Q** 子どもセンターの活動(自然体験やボランティア、情報の提供)についてはどうなっているのかその現状は。

**A** 活動していないのが現状だ。これから努力していく。



南原小学校

# 委員会研修

## 総務常任委員会研修視察

平成十六年二月十六日～十七日  
兵庫県明石市

入札制度改革の現状と課題について研修した。

当市は従来から行っていた指名競争入札を平成14年度より、郵便応募型指名入札制度を導入、公共工事の適正化に取り組んでいる。

この制度の目的は、入札の公平性、透明性の向上及び競争性の確保を求めている。

また、工物品質の粗悪化や不当ダンピング防止のため低入札価格調査制度を導入し、改善を図っている。

研修を通じて職員が色々な問題、課題に直面しながらも創意工夫し、改革にチャレンジする姿勢と意識の高さを学んだ。



## 産業建設常任委員会研修視察

平成十六年二月十八日～二十日  
石川県金沢市、兵庫県播磨町



中心市街地活性化事業、駅周辺整備事業（橋上駅）について研修した。

金沢市とは人口規模や観光資源なども違い、苅田町と比較にならないが、活性化事業の難しさを感じることができた。

播磨町では、土山駅の橋上駅や駅周辺整備の現状を視察し、町づくりに対する意気込みを感じとれた。今回の研修を生かし、両事業を成功させなくてはならない。

## 厚生文教常任委員会研修視察

平成十六年二月十六日～十七日  
鹿児島県始良町、川辺町

始良町では総合型地域スポーツクラブについて研修を受けたが、スポーツにお金を支払うという認識不足による会員確保の問題、またサッカーくじによる助成金は5年間の期限付きであるので、クラブ存続のための財源確保が課題であった。

川辺町では、ゴミゼロ作戦への取組みについて研修を受けたが、ゴミを19種類に分別し、ゴミ袋に氏名を書かせるなどして各自に責任を持たせ、減量化を目指していた。



## 議員自治功労で表彰される

去る2月24日に開催された福岡県町村議長会総会の席上において、全国町村議会議長会より自治功労者の表彰が行われ、沖永春生議員（議員として30年以上）が、議会の振興発展に功労があったことが認められ表彰されました。



## 教育委員会委員に吉廣啓子氏任命同意

（プロフィール）

昭和43年3月国立九州大学文学部文学科卒業  
県立京都高等学校非常勤講師  
県立苅田工業高等学校非常勤講師  
昭和62年12月より教育委員会委員に就任  
現在に至る。

# 請願一件採択、 意見書八件可決

## 請願書

社会福祉法人春美福祉会理事  
長並びに理事会の正常な運営  
を求める請願

採択

## 意見書案

地方財政計画、地方交付税等  
の見直しを求める意見書

可決

義務教育諸学校教職員給与費  
の義務教育費国庫負担制度堅  
持を求める意見書

可決

請願者  
荏田町近衛ヶ丘六一―三―  
一〇一  
第一ひまわり保育園ひまわり  
会 会長 三浦 偉

マンション対策の充実強化を  
求める意見書

可決

65歳まで働ける雇用環境の整  
備を求める意見書

可決

生活保護の高齢者基準切り下  
げに反対する意見書

否決



求められるマンション対策

65歳まで働ける雇用環境の整  
備を求める意見書

可決

生活保護の高齢者基準切り下  
げに反対する意見書

否決

可決された意見書は関係省  
庁に提出し、その実現方を要  
請します。

患者負担増やめて難病対策、  
医療制度の充実を望む意見書

可決

2004年の年金改悪に反対  
し、最低保障年金制度の創設  
を求める意見書

否決

食の安全徹底を求める意見書

可決

「人権侵害の救済に関する法  
律」の早期制定を求める意見  
書

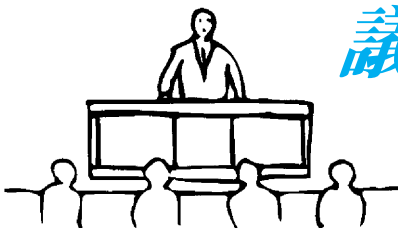
可決

鳥インフルエンザ対策の強化  
を求める意見書

可決



## 議会を傍聴しませんか



次の定例会は6月です。

一般質問は6月14日・15日・16日(3日間)の予定。

開催時間 / 10時~17時(予定)受付は庁舎6階まで。

3月議会は110人の傍聴者がありました

問い合わせは議会事務局まで(☎434-1981)

# カメラ 見て歩き



馬場小学校



苅田小学校



与原小学校



片島小学校

# 入学式 おめでとう

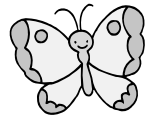


白川小学校



南原小学校

# フェスティバル



# 等覚寺松会



がんばれ地域のサポーター

(第三回)

苅田町青少年育成町民会議

組織と活動概況

会長 伊塚 工

「青少年が健全な大人に育つのを支援する“国民運動として、昭和四十一年全国に市町村民会議が設置されました。苅田町も平成元年諸先輩方のご努力により「次代を担う青少年の健全育成及び非行防止を図る」目的で発足いたしました。

会員は、青少年の健全育成を推進する機関・団体及び個人参加のボランティアの団体です。

現在三十八の機関・団体（198名）で構成されています。総務・健全・補導・家庭・生徒指導の専門部会に分れ、各々任務を文掌し活動しています。

主な活動として、いじめ防止運動・青少年育成団体指導者対象の講演会・子どもフェスタの共催・家庭の日（第

三日曜日）及びオアシス運動の推進・夜間補導・少年非行及び薬物乱用防止研修会・有害図書等の浄化活動を実施しています。

また、他の団体、町行事にも積極的に参加しアンビシャスな青年の育成に努力を致しております。尚、活動状況等につきましては、年三回

発行の苅田町青少年育成町民会議広報紙「すこやか」で紹介させていただきます。

現在、「群れ社会」としての地域の解体、新種の通信機器の普及による日常生活に

おける人間関係の希薄化などによって青少年の人間形成過程にかつて経験したことがないような、異様な歪みと、危機をもたらしめています。このような現状をふまえ、子どもたちの生活基盤であり、成長環境の一つである、地域社会の育成機能を向上させる必要があります。そこで町民会議としては、地域内の住民・家庭・学校等と緊密に連携を取り、子どもたちが多様な大人

たちと直に交り、衰退している体験活動や遊びを共にする活動の場を数多く提供して行く方針です。町の宝である子どもたちの安全と社会性豊かな青少年の育成にご理解とご協力をお願いします。尚、青少年育成町民会議では趣旨に賛同される会員を待ちしております。

事務局（三原文化会館内）  
TEL 093・434・9838  
FAX 093・434・9838



あとがき

桜の花びらが散り敷く春も終わろうとする中、やわらかな日差しとは別に世情は厳しさをましているこの頃です。

3月議会は予算決定の大切な議会でした。町民参画でもっと積極的に住みやすい町づくりをと執行部から提案されました。

それぞれの立場より財政、福祉、教育、環境など真剣に討議されました。

昨年9月に改選され12月・3月議会と経過した中で新議員も含めて毎回多数の議員が発言し、一般質問をしています。

この数枚のページに議員活動の一斑が載せられています。

今後も町民のみなさまの声を生かした町づくりの為に全議員で良い紙面作りに励みます。

梶原 弘子

議会広報特別委員会

- |      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 光 永 雄   |
| 副委員長 | 富 安 直   |
| 委員   | 梶 原 弘 子 |
| 委員   | 井 上 文 修 |
| 委員   | 三 原 信 茂 |
| 委員   | 小 山 信 美 |